奈良

日本三景［公式サイト］
陸前松島 丹後天橋立 安芸宮島
日本三景 検索
http://nihonsankei.jp/
日本三景観光連絡協議会

天気

	きょう 6時	9	12	15	18	21	24	あす
北部	15 1 (50)							15 8 (40)
南部	11 0 (60)							13 6 (40)

週間天気

	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	21日(土)
北部	20 10 (30)	20 8 (60)	18 10 (70)	17 6 (30)	18 6 (30)
南部	20 7 (30)	18 7 (60)	19 9 (70)	16 5 (30)	17 5 (30)

◯のち ◫一時・時々 5ミリ未満 5ミリ以上
数字(上)最高気温 (下)最低気温
丸囲みは降水確率
白ヌキは50%以上
↘は正午の風向き
矢印なしは無風

こよみは下に掲載

自治会ニュース

真美ケ丘が最優秀 3年連続 受賞団体 表彰

自治会などが作成する新聞やニュースの内容を競う「自治会ニュースコンクール2014」（同実行委員会主催、毎日新聞奈良支局など後援）の受賞団体が決まり、14日に河合町のまほろばホールで表彰式があった。コンクールには、県内5市7町の29団体が参加。最優秀賞に香芝市の真美ケ丘自治会が発行する「まみがおか」が3年連続で選ばれた。【塩路佳子】

最優秀賞に輝いた真美ケ丘自治会の中村信夫会長（左）と佐々木六郎事務局長

「新聞 参考にしている」

最優秀賞の「まみがおか」は、真美ケ丘自治会で、約1500世帯に配のメンバー24人が年6回発行。A4判8ページの冊子る。「仲よく 住みよく 暮らしよく」がモットーで、夏祭りや音楽コンサート、交通事故の発生場所など、さまざまな記事が載る。審査では「総合的に極めて高いクオリティーを保っている。楽しさもあり、住民の顔や、人となりさえ透けて見えるようだ」と評価された。

佐々木六郎事務局長(70)は「見出しやレイアウトは新聞を参考にしている」。中村信夫会長(70)は「自治会の活動が評価されて光栄」と喜んだ。

東登美ケ丘に 毎日新聞社賞

自治会が発行する新聞などを通じて、地域の連帯意識を高めるよう、コンクールは2011年から開催。東日本震災で携帯電話やインターネットが通じなくなった中、住民が情報共有する手段として紙媒体が重要な役割を担ったことがきっかけだった。

ニュースを年2回以上発行していることなどが応募条件で、見出しの表現、掲載記事の選択などを審査。記事の充実などが評価され、奈良市の東登美ケ丘地区自治連合会・社会福祉協議会が発行する共同広報誌「ふれあい」が、毎日新聞社賞を受賞した。メンバーの高嶋貞夫さん(77)は、「大阪に通勤・通学する住民が多い中、地域に根ざした新聞を作り続けたい」と語った。

元毎日新聞論説委員で審査委員長の津野恭誉さん(70)は「防災や防犯の面でも、発行する団体が増えてほしい」と話していた。

毎日新聞社賞に輝き、賞状を受け取る東登美ケ丘地区自治連合会・社会福祉協議会の高嶋貞夫さん＝いずれも河合町で

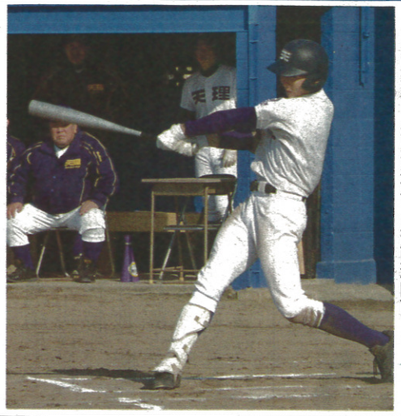
他の受賞団体は次の通り。

【優秀賞】星和台ニュース（河合町・星和台自治会）▽高塚台ニュース（河合町・高塚台自治会）【審査委員会特別賞】泉台ニュース（河合町・泉台自治会）▽高塚台二丁目ニュース（河合町・高塚台二丁目自治会）▽石見だより（三宅町・石見自治会）▽久美ケ丘かわらばん（河合町・久美ケ丘自治会）▽あすか野新聞（生駒市・あすか野自治会）▽斑鳩めやす（斑鳩町・自安自治会）▽三室自治会だより（三郷町・三室自治会）【審査委員奨励賞】「メディアミックス賞」自治会報美しケ丘（王寺町・美しケ丘自治会）▽「踏ん切ったで賞」錦ケ丘自治会だより（斑鳩町・錦ケ丘自治会）▽「ほのぼの賞」広報しらにわ台（生駒市・白庭台自治会）▽「頑張っているで賞」役員会からのお知らせ（生駒市・北新町自治会）▽「コラム賞」旭ケ丘だより（大和郡山市・旭ケ丘自治会）

県立医大で 入試出題ミス

県立医大は13日、医学部医学科一般入試（後期日程）で出題ミスがあったと発表した。12日に実施した生物のうち、1～13まで番号を振った空欄に語句を記入する問題で、番号を1カ所誤っていた。同大はこの部分について全員正解とした。後期日程には53人の募集枠に対し、388人が受験していた。【小坂剛志】

センバツ2015


三重との練習試合で2本塁打と大活躍を見せた先頭打者・舩曳海選手＝三重県松阪市で

天理が三重に 練習試合快勝

センバツ初戦の相手が糸満（沖縄）に決まった天理は14日、昨夏の甲子園で準優勝の三重（三重県松阪市）との練習試合に臨んだ。試合は舩曳海選手（2年）の2本塁打などで13点を奪い快勝。投手陣も完封リレーで本番に向けて弾みをつけた。

試合は三重のグラウンドであり、1年生左腕の森浦大輔投手が先発。一回を3者三振に仕留め、三回を完璧に抑えた。続く王子修（同）、野田侑平（同）両投手も六回を無失点で継投した。打撃は一回に坂口漠弥選手（同）の適時打で先制し、その後も追加点を重ねた。

橋本武徳監督は「坂口の当たりで勢いがついた。だがいつもこんな展開ができるわけじゃない」と引き締めていた。天理ナインは15日以降も他校との練習試合を重ね、初戦に備える。【小坂剛志】

糖尿病対策 市民ら学ぶ

奈良でフォーラム

市民に糖尿病の予防や対策を広く知ってもらう「糖尿病県民フォーラム」が14日、奈良市登大路町の奈良商工会議所であり、約60人が糖尿病との向き合い方を学んだ。県糖尿病対策推進会議と県医師会が開いた。

この日は、県立医科大の赤井靖宏准教授が「健康長寿を目指した糖尿病とのお付き合い」と題して講演した。赤井准教授は、糖尿病治療には「血糖値の変動ではなく、自分の症状に応じた目標値を知りコントロールすることが大事」と呼びかけた。また患者の死を招くのは腎症などの合併症が原因として「早期発見が大事」と話した。その上で運動療法と食事療法のポイントを紹介した。

また健康運動指導士で高の原すずらん内科の米倉道代さんによる「手ぬぐい体操」の指導もあり、参加者は手ぬぐいを使った効果的な運動法を学んでいた＝写真。【内田幸一】

キャップを分別する参加者たち＝奈良市で

キャップ回収を 大学生呼びかけ

教育大で活動紹介

奈良市の奈良教育大で14日、キャップフェスティバルが開かれた。発展途上国の子供にポリオワクチンを届けるため、ペットボトルのキャップ回収活動に取り組む「ボランティアサポートオフィス」（大和郡山市・旭ケ丘自治会）

92歳をひき逃げ 容疑の医師逮捕

高田署

高田署は13日、香芝市高山台3、大和高田市立病院副院長で医師の伴信之容疑者(63)を道路交通法違反（ひき逃げ）容疑で緊急逮捕した。

逮捕容疑は、同日午後6時35分ごろ、葛城市竹内の国道166号交差点で軽乗用車を運転中、歩いていた近くの無職、碓井静雄さん(92)をはねたが救護せずに逃げた、としている。通行人が倒れている碓井さんを見つけ、110番通報した。碓井さんは頭などを打ち、間もなく死亡した。伴容疑者は「何かに当たったが、人とは思わなかった」と容疑を否認しているという。

同署によると、事故から約20分後、伴容疑者が徒歩で現場に戻ってきた。現場から約100㍍西の空き地に駐車していた軽乗用車に衝突痕があるのを確認し、逮捕した。自動車運転処罰法違反（過失運転致死）容疑でも調べる。＝一部地域既報【内田幸一】

あすのこよみ
3月16日(月)
旧暦1月26日(友引) 若潮

月齢	25.1
月出	2:39